

新補助金システムの 目的と方針



第2780地区財団補助金管理セミナー

1. セミナーの趣旨と次年度方針
2. セミナーの目的と狙い
3. セッション1:プロジェクトの立案
4. セッション2:補助金の申請
5. セッション3:補助金の管理
6. セッション4: 参加資格の認定

ガバナー・エレクト
補助金委員長
補助金推進委員長
補助金推進副委員長
財団資金管理委員長
補助金配分委員長

田中 賢三
山田 雅孝
長谷川洋平
柚木 裕子
小川 忠久
藤村 昌一

2015-16年度ガバナー方針

ガバナー・エレクト 田中 賢三

次年度に奉仕の実践を予定する皆様へ

□ RI戦略計画は、ロータリーの理念を貫くと同時に、3つの優先的実践課題を掲げ、同時にR財団は未来の夢計画(FVP)を策定しました。

□ クラブと地区が主体:「発案・実行・管理・結果」のPDCAのプロセスを実施していくことがFVPです。

□ 本セミナーの趣旨

- 1.次年度に補助金申請を予定している次年度クラブ財団委員長および会長エレクトが対象のセミナー。 12月1日ー15日 地区補助金申請。
- 2.本セミナーの受講はMOU取得必須条件。(補助金額50万円以上)
- 3.補助金の正確な管理と透明性、結果報告に至るまでの手続きを習得し、責任と義務を明確にする。

財団補助金の実践プロジェクトに関する方針

1. クラブの全員参加意識が高揚するプロジェクト。
2. 複数クラブの共同参画プロジェクトでより大規模な奉仕活動（グループ内の協力で補助金枠を拡大）。
3. ニーズ優先にして補助金優先でないこと。
4. グローバル補助金にチャレンジ。

以上、意見交換・質疑を含めて、奉仕の実践に役立つセミナーとなることを願っています。

はじめに：補助金の概要と趣旨

補助金委員長 山田 雅孝

新しい補助金システムの目的と方針

- 1.プロジェクトの立案： 選択・計画と財務管理
- 2.補助金の申請： 重点分野・持続可能性・申請の条件
- 3.プロジェクトの実施：計画(モニタリング)・財務管理
- 4.参加資格： 資格要件・MOU・報告書

まとめ

参照：**HB1-23P** は補助金ハンドブックの掲載ページを示す

未来の夢計画の目的と方針

未来の夢は、意義ある奉仕活動を支援する

R財団の新しい補助金システムです、 目的は 

- 1.財団の使命に沿って、**プログラムと運営を簡素化する。**
 - 2.世界の優先的ニーズに取り組むことで、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞る。
 - 3.世界と地元の目標を果たすための資金を提供する。
 4. **意思決定を地区とクラブレベルで、**R財団が自分たちのものと云う自覚を高める。
 - 5.R財団活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高める。
- ◆優先事項:『プログラムの簡素化』『裁量権の拡大』
事業サイクルが2年掛かりになる

補助金管理セミナーの目的

- ロータリー財団補助金の管理方法を理解する
- 資金管理において求められていることを学ぶ。
- 「クラブの覚書」の要件を順守できるよう、その内容を理解する。
- クラブが目指す奉仕プロジェクトがR財団の使命や地区方針に外れていないか (HB1-4～10Pチェックポイント3)
- クラブが補助金の受領資格を得る。

2015 - 16年度2780地区 R財団委員会組織編制予定

地区財団監査
委員会(3年)

公認会計士+パストガ
バナー+現役地区役員
合計3名

構成員:補助金委員長
ガバナー.R財団委員長

地区R財団委員会

構成員:R財団委員長+R財団副委員長(2名)+委員3名(PG+資金管理委員長+資金推進委員長)+ガバナー

補助金委員会

資金管理委員会

資金推進・ポリオ委員会

補助金配分
小委員会

DG補助金部会
GG補助金部会

補助金推進
小委員会

広報・研修部会
資格申請支援部会

平和フェロー・
奨学金委員会

平和フェロー部会
奨学金・学友部会
職業研修部会

地区管理部会

クラブ管理部会

資金推進部会

ポリオ部会

注:ガバナー、ガバナーエレクト、財団
委員長、補助金委員長、R財団監査委
員の所属クラブはグローバル補助金の
参加資格は在任中停止されます。

補助金管理計画

◆プロジェクトへのプラス効果

1. 適切な管理の下で実施
2. 高い技術標準
3. 受益者のニーズに応える
4. 目的を達成
5. 寄付者の資金を守る



◆財務と事務管理の地区方針 (参照: HB3-20P事務マニュアル) 公正・公平性を担保し、内外に開かれた見える仕組みを計画に

◆クラブ補助金委員会(または補助金管理委員)の設置 委員には必ず、財務とパソコン操作に堪能な方を任命

成果あふれる補助金プロジェクト

1. 地域社会のニーズに応える
2. 協同提唱者と頻繁に連絡を取る
3. 実施計画を立てる
4. 持続可能なプロジェクトを立案する
5. 適切な資金管理を行う

資金管理

「資金管理」とは責任ある財務管理と補助金の監督を意味します。

- ロータリアンによる監督
- 標準的な事業慣行
- 財務記録の定期的チェック
- 補助金の監督
- 不正の報告
- 不備のない報告書を期日通りに提出

参加資格要件

- 1年間有効(ロータリー一年度ごと)
- 補助金に対するクラブの全体責任
- 利害の対立を開示
- 監査に協力
- 資金の適切な使用
- 「クラブの覚書」の順守 (HB3-4P 覚書(MOU) 、
但し、地区補助金が50万円未満は適用除外扱い(2014.7.1より)

セッション1 プロジェクトの立案

補助金推進 広報・研修部会長 長谷川 洋平

本セッションの目的

- 1.プロジェクト選びのベストプラクティスを学ぶ。
- 2.プロジェクトの実施計画を立てる。
- 3.進捗が測定可能な目標の立て方を理解する。

補助金プロジェクトを成功させるために

- 地域社会に実在するニーズ
- 協同提唱者との頻繁な連絡
- 実施計画
- 持続可能なプロジェクト (HB1-25P③持続可能性とは)
- 適切な資金管理

ニーズ調査の目的

- 地域社会の強み弱みを知る
- 地域社会の問題点を知る
- 新たな奉仕プロジェクトを発見する
- 既に実施されているプロジェクトの重複を防ぐ
- 6つの重点分野の中心となるかチェック
- 取り組む必要性が第三者に説得力あるか
- ローターやパートナーのリソースが生かされるか
- プロジェクトが最終的にローターの公共性のイメージと認知度が高まるものか

(HB1-24P①地域社会の調査を参照)

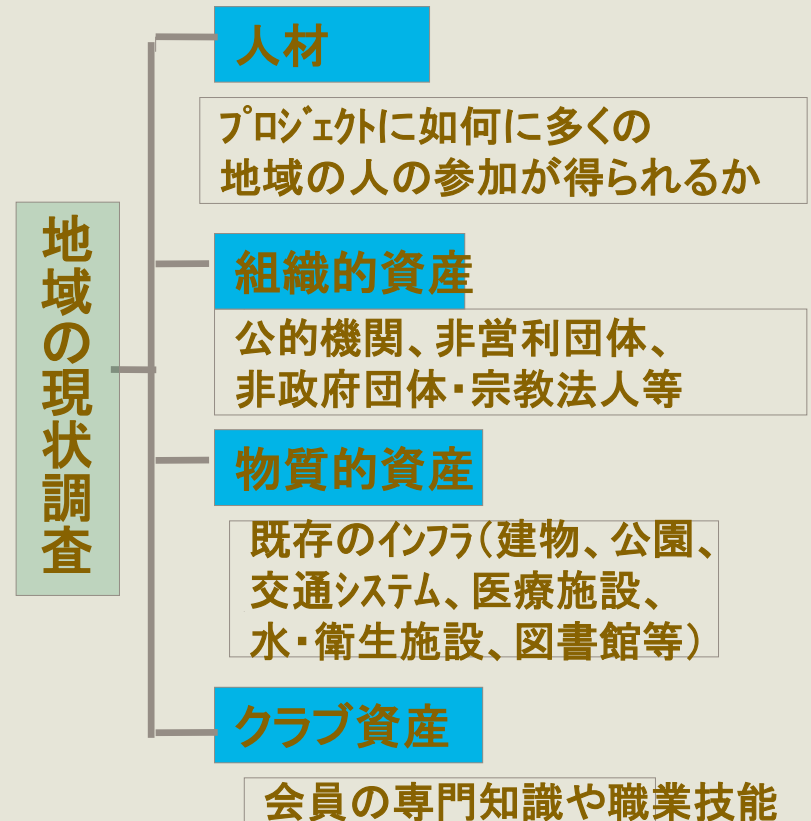
地域社会のニーズ調査

- 地域社会のニーズに基づいてプロジェクトを選定
- クラブと協力団体が持つリソースを検討
- 地域社会の人々に関わってもらう
- **ニーズ調査の方法**

準備: 現状把握

- ① アンケート方式
- ② 座談会形式
- ③ 資産の棚卸し
- ③ 地域社会のマッピング
- ④ パネル討論会

何を調査するか？



協同提唱者

- Project LINK
- RI国際大会
- プロジェクトフェア
- LinkedIn
- [Matchinggrants.org/global](https://matchinggrants.org/global)
(マッチング・グラントのサイト)
- 国際会合

◆協同提唱者を探したことのある方は？

◆協同提唱者(協力団体)と連絡を取る良い方法は？



協力団体と協力組織の違い

協力団体 : Cooperating organization

専門知識や技術を有し、評判のよい専門技術を提供したり、調整を行うなどして、プロジェクトの実施に直接に関与する団体（通常は非営利団体で、政府機関の場合もあります）

□プロジェクトは、協同提唱者であるRCまたは地区が管理。

ロータリー財団補助金は協力団体には直接送金しない。

□1団体年5回までロータリーと協力が可能。プロジェクト毎に協力団体の承認をR財団から受け、覚書またはagreementを提出。

協力組織 : Strategic partner

ロータリー財団と長期的に公式な協力関係にある団体（ロータリー財団の長期パートナー）非政府組織や大学など。例としては、Rotaplast Internationalやポリオでは世界保健機構、米国疾病対策センター、ユニセフなど。

パッケージ・グラントにおいて協力する団体。

プロジェクトの計画

- 3名の補助金委員は誰を任命しますか？
(但し、地区補助金が50万円未満の場合は、1名の補助金管理委員を任命)
- 役割の分担 (HB1-5P & 10P-MOUを参照)
- 実施計画
- 予算
- 危機対応計画
- 書類保管のシステム

予算の作成

- 現実的
 - 競争入札
 - 妥当な価格
 - 利害の対立を開示
-
- (HB1-4P～6Pを参照)



目標の設定

- 測定可能・・・モニタリング
- 持続可能
 - 量的(数値)
 - 質的(記述的説明)
- 基準データを特定する事例
- 目標を設定する事例
- 測定方法を決定 (モニタリングはHB1-44P～ツールキット参照)
- ◆補助金活動を選定する際、皆さんのクラブではどのような要素を考慮しますか？



セッション1の振り返り

①学んだこと

- プロジェクト選びのベストプラクティスを学ぶ。
- プロジェクトの実施計画を立てる。
- 進捗が測定可能な目標の立て方を理解する。

②これから実行すること

③連絡先

- **事例研究**

セッション2 補助金の申請とプロジェクトの実施

補助金推進 申請・資格支援部会長 柚木 裕子

研修目的

- 1.承認へとつながる提案書と申請書を作成できる。
- 2.補助金プロジェクトの資金調達の仕組みを理解する
- 3.評価の重要性について説明できる。

参考委資料:クラブMOU・授与と受諾の条件、活動する地域社会」

地区補助金の申請

- 地区が一括で補助金を受領し、クラブに配分
- 財団には大まかな指針が設けられている
 - 財団の使命に適うか？ ロータリーらしさは？
 - 成果が確実に出るか？ 独自性・効率性・持続性は？
- 地区の方針である(2780地区R財団運営規程)に沿っているか(申請手順・選考基準)

(申請手順・選考基準: HB1-7P~10Pと 運営規程: HB3-44P~47Pを参照)

地区補助金の提案書

1. 受益者 (beneficiary or benefiting community) が援助を必要とする現況と行政等の方針
2. 奉仕プロジェクトの事業内容とその事業の持続性と受益者以外への波及効果
3. ロータリアンの主体性と奉仕活動参加人数
4. ロータリーならではの独自性と特殊性
6. 概算の予算計画

新地区補助金の提案書

2780 地区指定様式 D1201 号

提唱者に関する情報 提出日： 年 月 日

クラブ名 会長名

財団委員長名： 奉仕プロジェクト委員長名：

姓(漢字)： 名：
(ローマ字)

E-mail address ㊚：

プロジェクトの予定活動期間： 年 月～ 年 月 完了報告予定日： 月

計画事業予算合計額： 事業主体：

クラブ拠出金： (円・\$) 他のRCまたは、団体の参加があればその名称

補助金申請額： (円・\$) ①
②

1. 受益者 (beneficiary or benefiting community) が援助を必要とする現況と行政等の方針

2. 奉仕プロジェクトの事業内容とその事業の持続性と受益者以外への波及効果

①事業内容

②事業の持続性を担保する施策と期待される波及効果

3. ロータリアンの主体性と奉仕活動参加人数 4. ロータリーならではの独自性と特殊性

主体性の根拠：

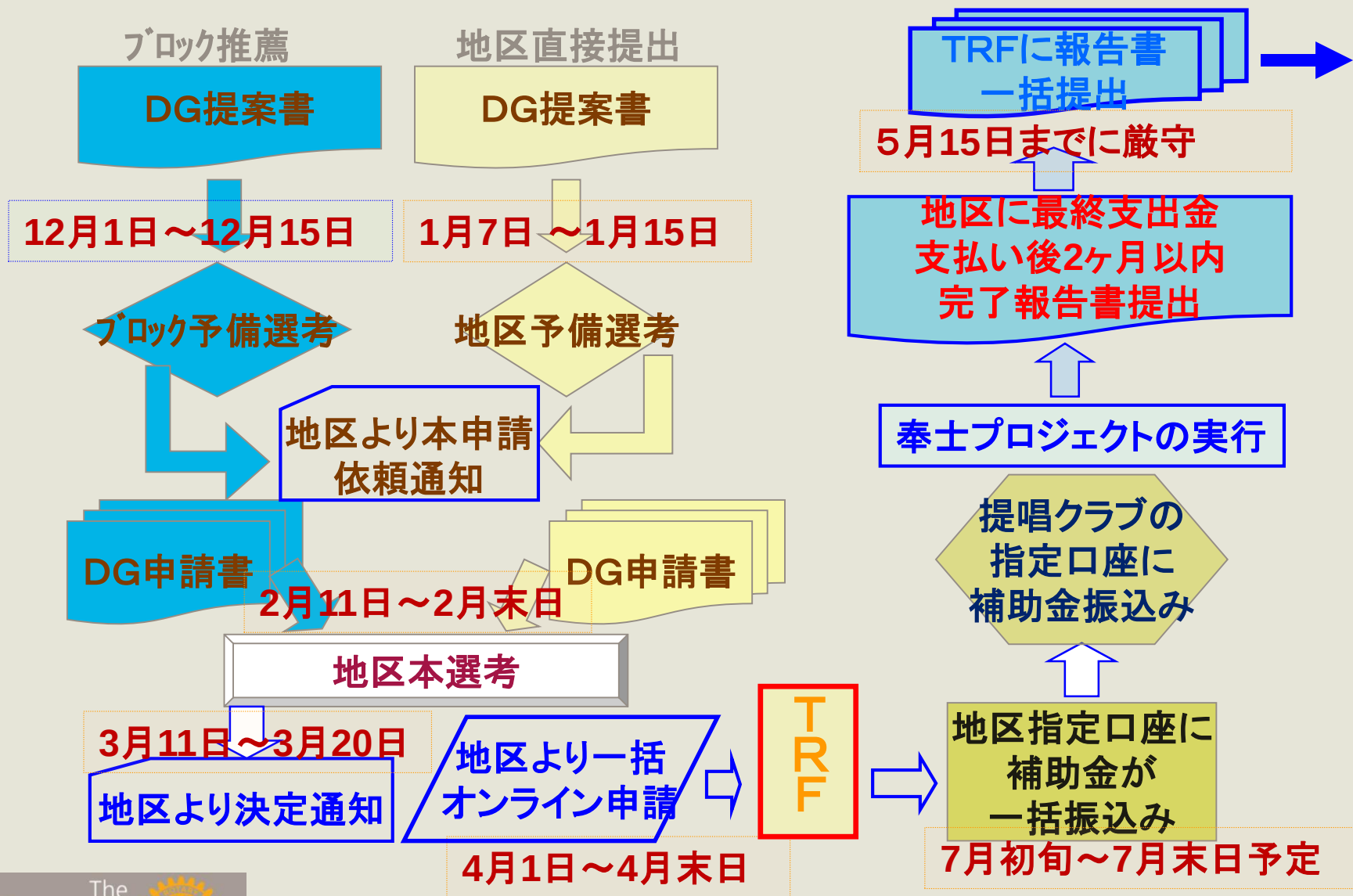
ロータリアンの現地参加予定人数： 名

4. 事業予算 支出の概算内訳

① : 千円 ⑤ : 千円
② : 千円 ⑥ : 千円
③ : 千円 ⑦ : 千円
④ : 千円 合計 : 千円

付属添付書類：「 」 「 」

地区補助金申請のフロー



地区全ての完了報告書提出がないと補助金が送金されない

グローバル補助金の申請

- オンラインで提案書の自己チェックをし、オンラインで申請書を提出 (**HB1-5P、19～23Pを参照**)
 - 地区財団補助金推進委員会がサポート
- 6つの重点分野の中心に目標が関連
- 持続可能であること
- 2つの提唱地区またはクラブが関与
- 活動予算は最低30,000米ドル(DDFは15,000)以上
- クラブの受領資格を地区が確認

重点分野: 目的と目標 を参照

重点分野

<http://www.rotary.org/ja/Members/RunningADistrict/FutureVisionPilotProgram/Pages/AreasofFocus.aspx>



平和と紛争予防／紛争解決



疾病予防と治療



水と衛生



母子の健康



基本的教育と識字率向上



経済と地域社会の発展



ワークシート4: 持続可能性

「グローバル補助金プロジェクトの持続可能性の原則」

1. 補助金資金が終了後も多様なレベルの持続可能性を目指す。
2. 地元のリソース、考え方や意見、知識を最大限に活用する。
3. 天然資源基盤を大切にし、環境の悪化・破壊をさせない。
4. 最大数の人々に恩恵を与えるよう努めると。
5. 財団の重点分野に職業訓練や奨学生等人材育成を組みこみ、
永く貢献できるようにしたり、地域社会や職業に多大な影響を
与え、効果を高めるために、地域の参加する人々を養成する仕
組みをつくること。
6. ロータリー地域社会共同隊など、草の根の人々や団体の意見
やスキルを生かし、プロジェクトと活動の継続性を図る。

- 特定された地域社会のニーズ
- 活動内容と期待できる成果
- 重点分野との関連性
- 大まかな予算

ニーズ調査実施

重点分野を選ぶ

目標を選ぶ

持続可能かどうか判断する

地区に提案書提出・予備選考

R財団へ提案書

R財団へオンラインにて申請書



申請書

- 詳細な計画
- ロータリアンの関与方法
- 持続可能性の説明
- 詳細な予算



グローバル補助金の資金調達

- DDF に対しWF(国際財団活動資金)から DDF の95～100%が上乘せされる
- ロータリアンの現金寄付にはWFから約50%が上乘せされる
- ロータリアン以外による寄付金

2014-15年度(渡辺G年度)実施プロジェクト

クラブ拠出	クラブ名	プロジェクト名	確定予定額
\$800	かながわ湘南	新生児黄疸・早期診断でミャンマーの赤ちゃんを元気に	¥520,000
\$1,100	逗子+2	東日本大震災 相馬市被災者支援プロジェクト	¥540,000
\$1,350	藤沢東+6RC	ヒナツボ火山麓原住民に対する水事情のインフラ設備の修復	¥975,000
\$2,000	相模原+5RC	大船渡市末崎中学校仮設照明設備設置	¥800,000
\$3,000	座間	自転車安全プロジェクト	¥450,000
\$2,000	厚木中	『スポ・音 心育み』プロジェクト	¥300,000
\$3,000	大和中	交通事故撲滅キャンペーン	¥500,000
\$2,000	秦野名水	介護を担う家族いやしの旅	¥330,000
\$500	伊勢原平成	養護施設の子供達と音楽会	¥250,000
		合計	¥4,665,000
社会奉仕+かながわ湘南		難民定住支援プロジェクト	¥600,000
			¥600,000
\$1,800.	平塚湘南	フィリピン シキホール島水設備	¥3,600,000
その他に 地区補助金の奨学金2名、グローバル補助金奨学金3名			¥3,600,000

資金の拠出に関する指針

- ロータリアンが募金で得た収益
- 補助金をもらうために受益者から資金を集めることは認められない
- ほかの財団補助金を回すことはできない
- 寄付は寄付者本人からのものとして記録

実 施



- コミュニケーション
- 財務管理計画
- 記録の保持
- 当初の計画に従う



評価

- 報告書作成に役立つ
- 今後のプロジェクトの改善
- 目標を指標とする
- 実施中と完了後に行う
- 内外に成果を伝える



セッション2の振り返り

- 承認へとつながる提案書と申請書を作成できるようにする。
- 補助金プロジェクトの資金調達の仕組みを理解する。
- 評価の重要性について説明できる。

セッション3 補助金の管理

財団資金管理委員長 小川 忠久

セッション3の研修目的

本セッションの終了後、参加者に期待されること

- 財務管理と記録維持の

ベストプラクティス(最善の方法)を学ぶ。

- 保管すべき書類は何かを知る。

- クラブ補助金委員の役割を理解する。

特に財務担当者は財務とパソコンが堪能であること。

財務管理計画

◆財務管理における会計処理の考え方

◆財務管理の方法

(HB3-19～25P-財務管理と書類の保管マニュアル参照)

- 補助金専用の銀行口座
- 資金の支払い方法
- 支払記録が残るよう、
銀行振込等の方法を使用
- 詳細を帳簿に記録
- 国の法律を順守



地区補助金50万円未満の 補助金管理の簡略化について

財務管理と書類の保管マニュアルの変更説明

地区補助金が50万円未満の主な変更点

1. クラブ覚書(MOU)の省略
2. 3名のクラブ補助金委員会に替えて、
⇒1名の補助金管理者を置く。
3. 支払い承認書、稟議申請書
⇒省略し、銀行の支払依頼書の保管のみ
4. 支出に伴う領収書を支払い承認書に添付
⇒支払い日順に綴じ、完了報告に添付
5. 仕訳帳、貸借対照表、損益計算書、月末残高確認書
と中間における資金管理委員会の内部監査の省略
6. クラブ補助金口座引継書の省略
7. 地区ホームページ(Web共有)へ月次報告の省略

完了に伴うお願いと変更点

- 地区補助金が50万円未満の場合の書類の保管は、完了報告書の注意事項に記載されている通りで。
 - 「Web共有にアップ」に替えて、データ・ファイルでガバナー事務所にメール送信。但し領収書の原本は郵送。
- 地区補助金完了報告書の締切は、最終支払後2か月以内、若しくは実施年度の5月15日の早い到来日。
- 地区補助金の伴う奉仕プロジェクトの残余金の返還
 - 残余金がクラブ現金拠出金の範囲であれば、クラブの口座に移管し補助金口座をゼロする。(但し、事前に地区補助金配分委員会の了承が必要)
 - 残余金が現金拠出額を超えた金額は地区補助金口座に返還(送金手数料は事務費に計上後)。
 - 閉鎖した通帳の写しを完了報告書に添付。

リソース

- 財務管理と書類の保管マニュアル (7.01改訂版)
(HB3 - 19～25P参照)
- 書類の保管ワークシート (HB3 - 16～18P 参照)
- 財務管理計画ワークシート (HB3-37P～参照)
但し、地区補助金が50万円未満の場合は適用除外

• このほかのリソースは
www.rotary.orgから



書類の保管



- 保管すべき書類
- 保管の方法
 - コピーを取っておく(電子データと紙ベースで)
- 誰でも閲覧できる場所に
- 最低10年間は保管(当地区は)
(HB3- 16~18P, 22~23p を参照)

利害の対立

- ロータリアンが補助金活動から金銭的または個人的に利益を得る場合、「利害の対立」が生じる
- 「利益」とは、直接的利益（ロータリアンへの利益）または間接的利益（ロータリアンと関係のある人の利益）が含まれる
- 「補助金参加者の利害の対立に関する方針（Conflict of Interest Policy for Grant Participants）」の開示
（HB3-23Pを参照）ロータリー財団章典の第7.030.項を参照

利害の対立に関する事例研究

・事例研究1の回答例:

- ・ロータリアンが経営する会社を採用することは
- ・選定プロセスの公正さと透明性を保つためには、

・事例研究2の回答例:

- ロータリアンが利害の対立とみなされこととは？
- 協力団体が利害の対立となることとは？
- クラブが対策を講じる必要があるのは？
 - 協力団体の理事となっているロータリアンは
 - ロータリアンではない
 - 競争入札プロセスの
 - この事実を誰に
 - 補助金申請書の中で、_____を公開し、_____説明する。
 - 好ましくない事態が生じた場合のため、_____。

セッション3の振り返り

- 財務管理と記録維持のベストプラクティス（最善の方法）を学ぶ。
- 保管すべき書類は何かを知る。

セッション4 参加資格の認定

補助金配分委員長 藤村 昌一

本セッション終了後、参加者に期待されること
資格要件とクラブの資格認定手続きを管理する。

資格要件

- 補助金管理セミナーへの出席
- 署名の入った「クラブの覚書(MOU)」を提出

資格の維持

(HB3-14PクラブMOU 参照)

- 「クラブの覚書」の規定を順守
- クラブの資格手続きを管理する会員(または委員会)を任命
- 資金の不正使用を防ぐための適切な管理体制

資格と条件

- ・ 補助金管理セミナーに2名以上出席すること。
- ・ 「クラブの覚書」に同意し、署名入りの「覚書」を地区に提出すること。
- ・ **透明性と公平性の確保：** 補助金管理に於いて、クラブ全員に周知され参加の機会が公平であること、補助金の透明性と、使途の結果がクラブ内はもとより、外部にも広報され、理解が得られものにすること。
- ・ **効果と貢献度の高いものに焦点を絞る：** 受益者へのお役立ちと、社会に対する影響と貢献度が高い奉士に焦点を絞り、効果的なプロジェクトを目指すこと。
- ・ **クラブとロータリアンが主体的に活動できること**
モノや金銭の援助より、実践的な提唱クラブとロータリアンの行動を主体とした、奉仕活動であること。

地区補助金の報告書 (HB3-41P～書式参照)

- 補助金の使途を報告することは、なぜ重要なのでしょうか。
- 報告書の提出は適切な資金管理の重要な要素。
- 報告書は、補助金が適切に管理され、使用したことの裏付け。
- 提唱者同士のコミュニケーションがとれ、信頼関係を深める。
- プロジェクト提唱者と財団が活動の成果を確認し、改善点を学ぶことが可能。
- 寄付金が活用を寄付者が知り、寄付増進につながる。
- 補助金モデルの改善の参考となる貴重なデータ。
- 補助金の恩恵や成果を実証する上で、活用できる。
- 各重点分野の成果データを紹介してロータリアンの活動意欲を高められる。
- 要件に準拠して記録を維持していれば、財団の要件を満たす報告書が容易に作成できる。

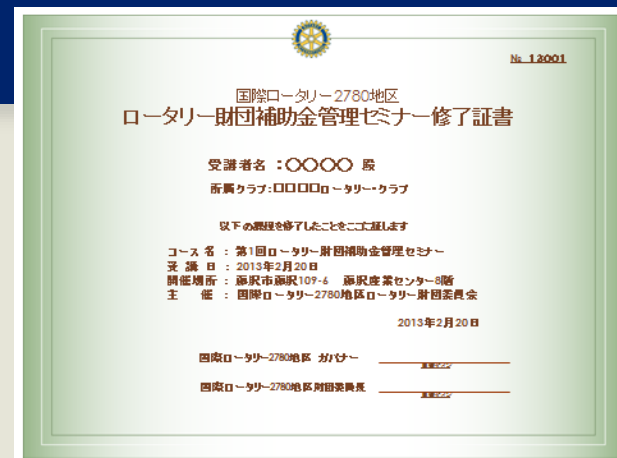
グローバル補助金の報告書：報告頻度

- 中間報告書
 - 初回の支払いから12カ月以内
 - その後は、補助金終了まで12カ月ごと
- 最終報告書は支払い金の完了から2カ月以内または、5月15日の到来日の早い方。
 - ・ (HB3-40P～完了報告書書式を参照)
 - ・ TRFにはオンラインで報告
 - ・ 全ての報告書が提出されないと、次年度の補助金の交付が受けられない(5月15日迄に地区へも)

セッション4の振り返り

参加者に期待されること

- ・ 資格要件を理解する
- ・ クラブの資格認定手続きを管理する。
- ・ 完了報告書は次に取り組む人達へ貴重な資料。



クラブの資格チェック

- ①「クラブの覚書」要件のうち、クラブが既に満たしているものは？
- ②クラブがこれから満たす必要のある要件は？
- ③「クラブの覚書」の要件を満たすためには
・クラブで誰に協力してもらいますか？

まとめ

疑問点はありませんか

